

ベトナム新時代

日外協の『海外派遣者ハンドブック<ベトナム編>』が完成した。
初めてベトナム編を刊行したのは2011年、13年ぶりとなる。

ベトナムはこの間、日本企業にとって重要な投資先であり続けてきた。そして、
今後ますます有望視されている。だが一方で、世界中の企業が進出するよう
になり事業環境は大きく変わった。

変貌し続けるベトナムとどう向き合えばよいか、
ハンドブック執筆者と、現地日系企業の関係者に聞いた。

(聞き手：国際人事センター長 坂本冬海)

ASEAN 5カ国と日本の基礎データ 2023年 (見通し)

(アルファベット順)	インドネシア	マレーシア	フィリピン	タイ	ベトナム	日本
人口(百万人)	277	33	113	70	100	125
GDP(億ドル)	14,174	4,309	4,357	5,122	4,334	42,309
1人当りGDP(ドル)	5,109	13,034	3,859	7,298	4,316	33,950

出所：IMF World Economic Outlook, Oct.2023

日本との関係

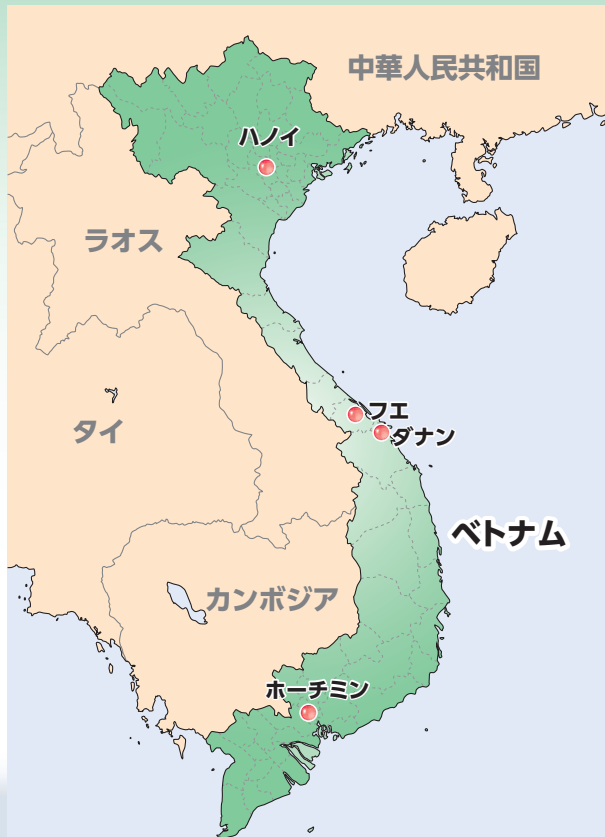
日本の対ベトナム貿易	年	日本の輸出	日本の輸入
	2020年	171.3億ドル	220.6億ドル
	2021年	190.7億ドル	230.0億ドル
	2022年	186.1億ドル	253.5億ドル

日本の主要輸出品目(2022年)：電気機器(25.0%)、一般機械(13.4%)、鉄鋼(11.9%)など

日本の主要輸入品目 (同)：電気機器(24.3%)、衣類・同付属品(15.0%)、一般機械(7.0%)など

日本企業の投資額 (認可ベース)	年	件数	投資額
	2020年	462件	13.9億ドル
	2021年	331件	36.5億ドル
	2022年	406件	47.9億ドル

出所：ジェトロ



中期的な有望事業展開先国・地域（今後3年間） ベトナムが初の2位

有望理由では「現地マーケットの今後の成長性」（57.3%）、「安価な労働力」（47.9%）のほか、「優秀な人材」との回答が上昇。
一方で、課題として「労働コストの上昇」（38.1%）、「法制の運用が不透明」（36.2%）が上位に。

順位	順位		国・地域名	得票率	
	2023	2022		2023	2022
1	—	1	インド	48.6%	40.3%
2	↑	4	ベトナム	30.1%	28.9%
3	↓	2	中国	28.4%	37.1%
4	↓	3	米国	27.1%	32.2%
5	↑	6	インドネシア	24.6%	21.0%
6	↓	5	タイ	21.5%	23.2%
7	↑	9	メキシコ	10.6%	7.4%
8	—	8	フィリピン	8.9%	7.6%
9	↓	7	マレーシア	6.6%	8.4%
10	↑	11	ドイツ	5.3%	5.7%

出所：国際協力銀行「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告 —2023年度 海外直接投資アンケート結果(第35回)」(回答社数 395)